

取扱説明書

圧力スイッチ 形式-SYS・DYS形



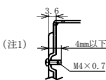
はじめに

このたびは、YS形圧力スイッチをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に、**取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。**
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に**必ず保管してください。**

安全上のご注意

警告

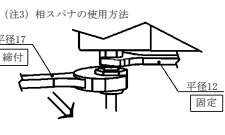
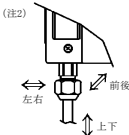
- 通電中にカバーをを外さないでください。感電の恐れがあります。
- 電源を切ってから配線してください。感電の恐れがあります。
- 製品に水をかけないでください。感電の恐れがあります。
- コード入ロゴムを外さないで配線してください。または、コンジットを使用してください。コードが露出している感電の恐れがあります。
- 取付ねじは、本体底部より挿入深さ4mm以下になるM4×0.7のねじを使用してください。(注1)
挿入深さが4mmより長い場合、内部部品と接触して誤動作や破損、感電の恐れがあります。



取付方法

製品はどのような姿勢にも取り付けができます。また、壁面やパネル板に取り付ける時には、本体背面にある本体取付用ねじ (M4×0.7) をご利用ください。
なお、取り付けには下記の項目にご注意ください。誤動作や破損の原因となります。

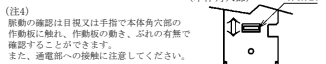
- 落下させないでください。
- 塗装しないでください。
- 圧力スイッチを配管ラインに取り付ける前には必ず管内のゴミ・異物を取り除いてください。配管時には継手面を前後、左右、上下方向に適度の応力が加わらないように配管形状を整えた上で取り付けてください。(注2) また、配管接続後に配管を押さえて整える事は行わないでください。
- 製品の配管時は相スパン (注3) を使用してください。
(1/4フレンド継手/締め付け推奨トルク: 12~14N・m)



取付条件

製品は次の条件でご使用ください。誤動作、性能低下の恐れがあります。

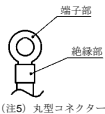
- 下記の範囲を超える条件で使用される場合は当社へご相談ください。
- 振動9.8m/s²以下の所に取付けてください。
 - 本体周囲温度-20~70℃以内、流体温度-20~120℃以内でご使用ください。
 - 融合点を侵さない流体にご使用ください。腐食性流体及び高気圧には使用しないでください。
 - 最高使用圧力以内でご使用ください。
- また、衝撃圧力、過度の圧力変動、脈動(注4)等のない所に取付けてください。



配線方法

電線の接続はマイクロスイッチに装着されている端子部を使用し、結線図をご参照の上、各用途に合わせて配線してください。

- 電気定格以内でご使用してください。
- 端子ねじには装着されているM4×0.7 (ねじ長さ: 6mm) のねじをご使用してください。
- 端子への接続は、丸型コネクター (絶縁付) をご使用ください。(注5)
- 端子ねじ・アースねじ以外の部品は操作しないでください。

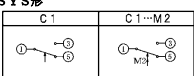


電気定格

電気定格はスイッチカバー内面に表示している定格表をご参照ください。

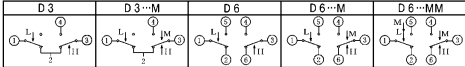
結線図

SYS形



矢印1 は圧力上昇時作動方向を示します。
矢印1 M2 は手動復帰方向を示します。
丸数字は端子番号を示します。

DYS形



矢印1 は、低圧側圧力上昇時作動方向を示します。 矢印1 M は手動復帰方向を示します。
矢印1 M2 は高圧側圧力上昇時作動方向を示します。 矢印1 M は手動復帰方向を示します。
丸数字は端子番号を示します。

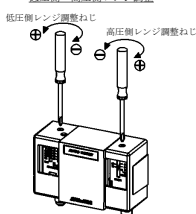
操作方法・調整方法

調整手順として圧力上昇時、上昇作動値をレンジ調整ねじで最初に設定し、その後圧力下降時、下降作動値を入切差調整ねじで調整してください。
低圧側レンジ調整ねじを時計方向に回すと、設定圧力が高くなります。また、入切差調整ねじを時計方向に回すと入切差が大きくなります。この両方の調整ねじの操作で希望の設定値に合わせることもできます。高圧側レンジ調整ねじは時計方向に回すと、設定圧力が高くなります。設定値変更の際は、圧力計で設定値を確認してください。目盛板は目安となります。

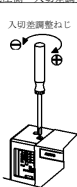
(注) DYS形の高圧側は、入切差が固定のため調整は出来ません。
(入切差調整ねじは付いておりません)

(注) 手動復帰形も入切差は調整出来ません。手動復帰の際は圧力下降(上昇)後にリセットボタンを押してください。規定圧力下降(上昇)前にリセットボタンを押すと、誤動作及び破損の原因となります。

低圧側・高圧側レンジ調整



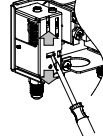
低圧側 入切差調整



図の○方向にねじを回すと設定圧力が高くなり、○方向に回すと低くなります。

点検方法

- 点検操作は、初期作動時やメンテナンス時のみ行うようにしてください。
- 通電中に圧力の上昇/下降で点検操作を行う場合は、カバーを取り付けた状態で行ってください。
- 通電中に手動で点検操作を行う場合には、感しないように電気作業用手袋などの絶縁用保護具を使用し、実施してください。
- 手動で点検操作を行う場合は、本体正面の作動板凸部以外を使用しないでください。内部部品の破損により、誤動作・作動不良の原因となります。
作動板凸部に押しつける力は作動板が角内側で動く程度とし、作動板を無理に角内側面に押し付けないようにしてください。また、ドライバーを内部に挿入しないでください。内部部品の破損により、誤動作・作動不良の原因となります。



手動で点検操作を行う場合は、凸部にドライバー (歯幅5mm程度のマイナスタッドドライバーを推奨) を当て、押し上げる方向に力を加えて作動させると、圧力が上昇して低圧側回路がONした状態と同じ動きをします。
逆に押し下げる方向に力を加えて作動させると、圧力が下降して低圧側回路がOFFした状態と同じ動きをします。

作動確認

ご使用の際は、本製品を正しく取付け、必ず試験運転を実施し、全システムが完全に機能することを確認してください。なお、本体端面等に錆が発生していても製品の特性に影響はありません。

使用上の制限

本製品は、人海にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いることを目的として設計・製造されたものではありません。この保証範囲外とさせていただきます。

- また、特に高信頼性が要求される用途に使用する際は、あらかじめ当社へご相談ください。
- ① 貴社の不適切な取扱い、または使用による場合。
 - ② 当社以外の改造、または修理による場合。
 - ③ 天災、災害、争乱その他不可抗力による場合。
- また、このように保証は本製品の品質の保証を意味し、本製品の故障や瑕疵により誘発される損害は除かせていただくものとします。

保証範囲

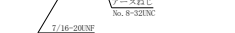
本製品の保証期間は、別途に両社間で定めのない限りは、納入後1年間とさせていただきます。

保証期間内に当社の責による故障が生じた場合には、製品の修理または交換させていただきます。

ただし、次の事項は保証外とさせていただきます。

- ① 貴社の不適切な取扱い、または使用による場合。
- ② 当社以外の改造、または修理による場合。
- ③ 天災、災害、争乱その他不可抗力による場合。

SYS形



DYS形



株式会社 鷺宮製作所

本社 / 〒169-0072 東京都新国分寺大久保3-8-2
新国分寺工場 〒270
URL: <http://www.saginomiya.co.jp>

営業本部 / 東京 03-6205-9140 大阪支店 / 大阪 06-6385-8011

本製品に関するお問い合わせは、お買い求めいただきました販売店もしくは saginomiya-info@saginomiya.co.jp へお問い合わせください。